

実証運行の評価と今後の展開について（案）

1 実証運行の評価

（1）村上市地域公共交通総合連携計画における評価指標

評価指標	計画策定時	10年後の目標
路線バス1便あたり輸送人員数	3.3人/便	6人/便以上
公共交通サービスの満足度	63%	80%以上
公共交通利用者の利用頻度	18%	40%以上
収支率25%未満の路線バス系統数	15系統	0系統

（2）実証運行における評価項目・評価方法・評価の視点

評価項目	評価方法	評価の視点	改善策・評価後の対応等
1. 利用者数	利用実績による	目標をクリアしたか	【バス・タクシー共通】運行方法の見直し、広報PRの拡大を行う。 【タクシー】利用説明会等により事前登録者を増やす。
2. 収支率	利用実績による	目標をクリアしたか	【バス・タクシー共通】収入増に向けた施策の検討。
3. 満足度	利用者及び住民等に対し、アンケート調査を実施する	目標をクリアしたか	【バス・タクシー共通】満足度調査に基づき、運行方法等を見直す。
4. 運行日	利用者及び住民等に対し、アンケート調査を実施する	ニーズに合った運行日だったか	【バス・タクシー共通】ニーズが多い日に変更、利用が少ない日は運休。
5. 運行時間帯	利用者及び住民等に対し、アンケート調査を実施する	ニーズに合った時間帯の運行だったか	【バス・タクシー共通】ニーズが多い時間帯に変更、利用が少ない時間帯は運休。
6. 運行ダイヤ	利用実績による	ダイヤどおりに運行できたか 時間帯によって異なる人数・利用目的等の ニーズに対応できたか 利用者がいない便はあったか	恒常的にダイヤが遅れる場合は、運行ダイヤ・エリア・予約受付の見直しを検討する。 ニーズが多く恒常的に対応できない便は、車両の増車・大型化を検討する。 利用者がいない便は運休。
7. 運行ルート 運行エリア	利用者及び住民等に対し、アンケート調査を実施する	ニーズに合ったルート・エリアだったか	【バス・タクシー共通】ニーズに対して利便性が極度に低い場合は、運行ルート、バス停位置等を見直す。
8. 運行台数	利用実績による	ニーズに合った運行台数だったか	ニーズが多く恒常的に対応できない場合は、車両の増車・大型化を検討する。 恒常的に利用者がいない場合は運休。
9. 運賃	利用者及び住民等に対し、アンケート調査を実施する	ニーズに合った運賃だったか	ニーズと極端にかけ離れている場合は、収支率等を考慮し、運賃の見直しを検討する。利用促進の観点から乗り放題券や定期券について検討する。
10. 運行車両	利用実績による	ニーズに合った運行車両だったか	ニーズが多く恒常的に対応できない場合は、車両の増車・大型化を検討する。 恒常的に利用者がいない場合は車両の減車・小型化を検討する。

(3) 実証運行の評価基準と検証後の対応

区分	実証運行の評価基準	検証後の対応									
予約型のりあい タクシー 【山北地区】	[利用者数]1日あたりの利用者数(県境3人・下海府7人) (A)5人未満 (B)5人以上10人未満 (C)10人以上 [収支率] (A)25%未満 (B)25%以上30%未満 (C)30%以上 [満足度] (A)63%未満 (B)63%以上80%未満 (C)80%以上	<table border="0"> <tr> <td>パターン1</td> <td>いずれかの項目に(A)がある場合</td> <td>運行内容の見直し(運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)</td> </tr> <tr> <td>パターン2</td> <td>いずれの項目も(B)以上の場合</td> <td>継続運行(利用状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> <tr> <td>パターン3</td> <td>いずれの項目も(C)の場合</td> <td>本格運行(乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> </table>	パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)	パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)	パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)
パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)									
パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)									
パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)									
予約型のりあい タクシー 【荒川地区】	[利用者数]1日あたりの利用者数(44人) (A)40人未満 (B)40人以上50人未満 (C)50人以上 [収支率] (A)25%未満 (B)25%以上30%未満 (C)30%以上 [満足度] (A)63%未満 (B)63%以上80%未満 (C)80%以上	<table border="0"> <tr> <td>パターン1</td> <td>いずれかの項目に(A)がある場合</td> <td>運行内容の見直し(運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)</td> </tr> <tr> <td>パターン2</td> <td>いずれの項目も(B)以上の場合</td> <td>継続運行(利用状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> <tr> <td>パターン3</td> <td>いずれの項目も(C)の場合</td> <td>本格運行(乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> </table>	パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)	パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)	パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)
パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)									
パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)									
パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)									
病院帰宅のりあい タクシー 【神林地区】	[利用者数]1日あたりの利用者数(44人) (A)40人未満 (B)40人以上50人未満 (C)50人以上 [収支率] (A)25%未満 (B)25%以上30%未満 (C)30%以上 [満足度] (A)63%未満 (B)63%以上80%未満 (C)80%以上	<table border="0"> <tr> <td>パターン1</td> <td>いずれかの項目に(A)がある場合</td> <td>運行内容の見直し(運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)</td> </tr> <tr> <td>パターン2</td> <td>いずれの項目も(B)以上の場合</td> <td>継続運行(利用状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> <tr> <td>パターン3</td> <td>いずれの項目も(C)の場合</td> <td>本格運行(乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> </table>	パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)	パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)	パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)
パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行経路以外の運行、予約方法など)									
パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)									
パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (乗合状況等を踏まえ運行方法を改善)									
村上市まちなか 循環バス 【村上地区】	[利用者数]1日あたりの利用者数(80人) (A)80人未満 (B)80人以上100人未満 (C)100人以上 [収支率] (A)25%未満 (B)25%以上30%未満 (C)30%以上 [満足度] (A)63%未満 (B)63%以上80%未満 (C)80%以上	<table border="0"> <tr> <td>パターン1</td> <td>いずれかの項目に(A)がある場合</td> <td>運行内容の見直し(運行日、運行本数、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 観光施策との連携(観光対応の運行ルート、運行日の検討、市外からの来訪者向けのPRなど)</td> </tr> <tr> <td>パターン2</td> <td>いずれの項目も(B)以上の場合</td> <td>継続運行(利用状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> <tr> <td>パターン3</td> <td>いずれの項目も(C)の場合</td> <td>本格運行(交通網の拡大:小型車両を活用し市街地内の幅員の狭い道路の運行を検討)</td> </tr> </table>	パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 観光施策との連携(観光対応の運行ルート、運行日の検討、市外からの来訪者向けのPRなど)	パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)	パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (交通網の拡大:小型車両を活用し市街地内の幅員の狭い道路の運行を検討)
パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行本数、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 観光施策との連携(観光対応の運行ルート、運行日の検討、市外からの来訪者向けのPRなど)									
パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)									
パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行 (交通網の拡大:小型車両を活用し市街地内の幅員の狭い道路の運行を検討)									
馬下～板貝線 【村上地区】	[利用者数]1日あたりの利用者数(11人) (A)10人未満 (B)10人以上15人未満 (C)15人以上 [収支率] (A)25%未満 (B)25%以上30%未満 (C)30%以上 [満足度] (A)63%未満 (B)63%以上80%未満 (C)80%以上	<table border="0"> <tr> <td>パターン1</td> <td>いずれかの項目に(A)がある場合</td> <td>運行内容の見直し(運行日、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 極端に利用が少ない場合は、デマンド型交通やスクールバス車両の活用などを検討</td> </tr> <tr> <td>パターン2</td> <td>いずれの項目も(B)以上の場合</td> <td>継続運行(利用状況等を踏まえ運行方法を改善)</td> </tr> <tr> <td>パターン3</td> <td>いずれの項目も(C)の場合</td> <td>本格運行</td> </tr> </table>	パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 極端に利用が少ない場合は、デマンド型交通やスクールバス車両の活用などを検討	パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)	パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行
パターン1	いずれかの項目に(A)がある場合	運行内容の見直し (運行日、運行ルート、ダイヤの見直しなど) 極端に利用が少ない場合は、デマンド型交通やスクールバス車両の活用などを検討									
パターン2	いずれの項目も(B)以上の場合	継続運行 (利用状況等を踏まえ運行方法を改善)									
パターン3	いずれの項目も(C)の場合	本格運行									

1日あたりの利用者数は、運行経路区域又は沿線に居住する65歳以上の高齢者の1.5%を目安としている。

平成23年10月～平成24年3月の間の実証運行の運行評価について

事業初年度であることから検証後の対応は、「運行内容の見直し」「継続運行」「本格運行」を柱とする。

運行内容の見直しについては、「利用者数」「収支率」などの定量的基準だけでなく、「地域住民の足」や「地域の活性化」などの定性的な評価を含めた総合的な評価を村上市地域公共交通活性化協議会が行い、評価を踏まえ、運行主体となる交通事業者と調整を行い取り組むこととする。

2 地区別の展開

	平成 23 年度 (事業 1 年目)	平成 24 年度 (事業 2 年目)		平成 25 年度 (事業 3 年目)		平成 26 年度以降
	10 月 ~ 3 月	4 月 ~ 9 月	10 月 ~ 3 月	4 月 ~ 9 月	10 月 ~ 3 月	
山北地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 1 段階 ・ 海岸部の地域 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 2 段階 (継続) ・ 第 1 段階の検証 (見直し、改善等) ・ 地区内の他地域への展開を検討 </div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 3 段階 (継続) ・ 第 2 段階の検証 (見直し、改善等) </div>		→
		他の手法の検討 (グループでのタクシー利用、タクシー利用助成、地域でのコミュニティ輸送、スクールバスの活用など)				
朝日地区		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー(通院) 第 1 段階 ・ 病院 朝日地区全域 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 2 段階 (継続) ・ 第 1 段階の検証 ・ 行き帰りの対応 (集落単位で曜日を決めた運行など) </div>			→
		他の手法の検討 (グループでのタクシー利用、タクシー利用助成、地域でのコミュニティ輸送、スクールバスの活用など)				
村上地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実証運行 まちなか循環バス 第 1 段階 ・ 幹線での運行 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 まちなか循環バス 第 2 段階 (継続) ・ 第 1 段階の検証 (見直し、改善等) ・ 交通網の拡大、観光施策との連携 </div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 まちなか循環バス 第 3 段階 (継続) ・ 第 2 段階の検証 (見直し、改善等) 実証運行の総括的な検証 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー(通院) ・ 病院 公共交通空白地域 (山辺里、瀬波など) 交通網の拡大 </div>	→
		他の手法の検討 (グループでのタクシー利用、タクシー利用助成、地域でのコミュニティ輸送など)				
神林地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー(通院) 第 1 段階 ・ 病院 神林地区全域 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 2 段階 (継続) ・ 第 1 段階の検証 (見直し、改善等) ・ 行き帰りの対応 (集落単位で曜日を決めた運行など) </div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 3 段階 (継続) ・ 第 2 段階の検証 (見直し、改善等) 実証運行の総括的な検証 </div>		→
		他の手法の検討 (グループでのタクシー利用、タクシー利用助成、地域でのコミュニティ輸送など)				
荒川地区	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 1 段階 ・ 荒川地区全域 </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 2 段階 (継続) ・ 通院対応 (地区外への運行) ・ 買い物対応 (地区内) </div>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 実証運行 のりあいタクシー 第 3 段階 (継続) ・ 第 2 段階の検証 (見直し、改善等) 実証運行の総括的な検証 </div>		→
		隣接する他自治体の公共交通との連携などの検討				